

監査報告書	被監査部門： 高知高陵交通株式会社 経営管理部門、現業部門(本社、橋原営業所) (管理者：戸田 政克・川上 司・宇賀 幹)		監査番号：2022-2
			監査年月日： 2022年10月26日・27日
監査範囲： 安全管理体制全般			
監査チーム 監査リーダー： 北岡 裕章 監査員： 川上 恵司			
打合せ	開催日時	出席者	特記事項
開始打合せ	2022年 10月26日 10:00～10:30	戸田 政克・川上 司・宇賀 幹 北岡 裕章・川上 恵司	
終了打合せ	2022年 10月27日 15:00～15:30	戸田 政克・川上 司・宇賀 幹 北岡 裕章・川上 恵司	

1. 監査の目的

安全管理体制が適切に確立され、実施され、維持され、機能していることを確認する。

2. 監査全般の講評・所見

運輸安全マネジメント制度への取り組み状況は、年々、その精度が向上している。

経営トップと両所長で毎月開催されている運輸安全マネジメント会議(社所長会)が定着し、その場で、安全管理体制の実施状況・課題等の把握とその改善策が協議されPDCAサイクルが構築されている。また、組織が小規模なこともあり、経営管理部門と現場双方の情報伝達及びコミュニケーションも、点呼時などに口頭での伝達や確認印の受領などの方法で実現されている。

3. 重点監査事項の所見

乗合・貸切バス事業とも今だ新型コロナウイルスの影響が残る中、経営姿勢改善の取り組みとして、乗合においては、乗客の利便性の向上による増客・増収や給油方法の工夫による経費削減、一方、貸切においては関係市町村へ積極的な営業を行なうなど経営努力が窺える。

また、長引くコロナ禍での従業員の不安感も考慮し、組織風土の改善のための取り組みとして、経営トップが主体となり全従業員に業務に係る様々な観点でのアンケート調査を実施し、厳しい状況の中においても、より良い職場環境を築き、全社員が一丸となって業務を遂行できるような取り組みを行っており、このことは安全風土の構築にも繋がると評価できる。

4. 前回監査の改善事項

2. 監査全般の講評・所見のとおり、輸送の安全を確保するための事業運営について、その取り組みがより深化している。

5. 監査の結果

ヒヤリ・ハット情報の収集やその活用に関し、営業所毎に工夫を凝らした取り組みを行っていることは評価できるものの、今後、自社の傾向を把握しリスク管理を進めるためにも、より多くの情報収集が望まれる。その手法として、両営業所で効果的な収集方法の共有・実施などを検討されたい。

6. フォローアップ監査の予定

監査対象不具合等：特に重大な不備等はないため、フォローアップ監査は実施しない。

監査予定日：

監査対象部署：

7. 是正／改善措置の確認および評価ならびにフォローアップ監査の結果

8. その他特記事項等

承認	確認	作成
2022年11月24日	2022年11月24日	2022年11月27日
代表取締役社長	安全統括管理者	監査リーダー
戸田 政克	川上 司	北岡 裕章